様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 670105	小学生士別市派遣事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		
	施策	連携と友好のきずなで築くまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	友好都市交流の推進		

(1)事業の概要

４月に全小学校の５・６年生全員に対して募集し、代表児童を選考する。事前説明会や事前研修を実施する。士別市教育委員会と連絡を取り合いながら事業を計画する。派遣や受け入れを通して交流を推進する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	研修回数	回
②	派遣期間	日
③	受入期間	日

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

４月に全小学校の５・６年生全員に対して募集し、３２名を選考する。説明会を含め３回の事前研修を実施した。士別市教育委員会と連絡を取り合い、３泊４日の日程で派遣事業を行った。また、1月に３泊４日の日程で派遣された士別市の児童２４名との交流を行った。

26年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市内小学校５・６年生
市内小学校

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	５・６年児童数	人
②	交流を行う学校数	校
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

北海道の大きな自然環境に触れたり、友好都市の児童と交流したりすることで、異なる文化の良さに触れ、視野を広めさせる。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	士別市派遣団団員児童数	人
②	士別市受入児童数	人
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

自主的な交流活動をしてもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	友好都市の交流の推進が重要だと思う割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	回	3	3	3	3	3	3
	②	日	4	4	4	4	4	4
	③	日	4	4	4	4	4	4
(6)の対象指標	①	人	1,632	1,547	1,543	1,541	1,420	1,404
	②	校	8	8	8	8	8	8
	③							
(7)の成果指標	①	人	32	32	32	32	32	32
	②	人	24	24	24	24	24	24
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	58.8	58.7	60	60	60	60
	②							
	③							

(10)予算費目　会計　01 一般会計　款 10　項 02　目 02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	2,724	2,240	3,151	3,250	3,250	3,250
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,724	2,240	3,151	3,250	3,250	3,250
人件費B		千円	1,922	2,076	2,076	2,076	2,076	2,076
	正職員従事時間×人数	時間×人	170 × 3	280 × 2	280 × 2	280 × 2	280 × 2	280 × 2
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0
その他費用C		千円	280	334	340	340	340	340
トータルコストA+B+C		千円	4,926	4,650	5,567	5,666	5,666	5,666
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	3	3	4	4	4	4
	②	千円/　校	616	581	696	708	708	708
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	670105	小学生士別市派遣事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成１３年　から	特になし
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
平成１２年１０月のみよし市と士別市の友好提携を契機として、今後一層の有効関係を深めていくための相互交流の推進を図るため。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：子ども同士の交流の見直しを図りつつ平成１５年度から学校別研修を取り入れた。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市友好都市国内交流事業補助金交付要綱	
			この事務を行う根拠又は理由	士別市と友好都市提携を結び交流を深めている。小学生間の交流は相互交流を深める。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	事前研修を含め、内容の検討を重ねていくことで成果向上で記すと考える。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	スポーツ課の事業　サッカー派遣団・少年野球派遣団	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						